



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	レーダ観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布 1989年1月~4月
Author(s)	青田, 昌秋; AOTA, Masaaki; 石川, 正雄 他
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 48, 71-82
Issue Date	1990-03-27
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/18767
Type	departmental bulletin paper
File Information	48_p71-82.pdf



Masaaki AOTA, Masao ISHIKAWA, Tohru TAKATSUKA, Mitsuo IKEDA, Kunio SHIRASAWA 1989 Distribution of Pack Ice off Okhotsk Sea Coast of Hokkaido Observed with Sea Ice Radar Network, January-April, 1989. *Low Temperature Science, Ser. A 48, Data Report.*

レーダ観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布^{*,**}

— 1989年1月～4月 —

青田 昌秋・石川 正雄・高塚 徹

池田 光雄・白澤 邦男

(低温科学研究所)

(平成元年12月受理)

北海道大学流氷観測用レーダ網による、北海道オホーツク海岸沖の、1989年1月25日から同年4月5日までの毎日午前9時における流氷分布を示した。図はレーダー・ブラウン管面に映る流氷域(沿岸結氷域を含む)を人手によりプロットしたものを基本とし、同時に写真撮影をしたPPI映像を参照しながら描いたものである。

氷野内には大小無数の氷湖が存在する場合もあるが、作図に当っては、氷縁と比較的巨大的な氷湖に主眼をおいた。PPI写真は、流氷期間中3時間毎に撮影され、そのフィルムが保存されている。詳細な流氷分布の変化を追跡する場合には利用できる。

なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、流氷量の統計的整理が行われ、その結果は低温科学 物理篇 第47輯に「北海道沿岸の流氷量の変動」と題して報告されている。

* 北海道大学低温科学研究所業績 第3329号

** 北海道大学低温科学研究所 流氷研究報告 研究報告第131号





















